

2023年10月12日

株式会社三菱UFJ銀行

DAIZ 株式会社に対する「ディープテックベンチャーへの民間融資に対する債務保証制度」 を活用したシンジケートローンの契約締結

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 当行）は、今般、DAIZ 株式会社（代表取締役社長 ^{い で つよし}井出 剛、以下 DAIZ）との間で、「ディープテックベンチャーへの民間融資に対する債務保証制度」（以下 本制度）を利用したシンジケーション方式の実行可能期間付タームローン契約（以下 本契約）を締結いたしました。

本制度は、経済産業省が2021年8月より開始しており、事業活動計画の認定を受けたディープテックベンチャー企業が、経済産業大臣に指定された金融機関から融資を受ける際に、独立行政法人中小企業基盤整備機構の革新的技術研究成果活用事業円滑化債務保証制度を利用できるものです。本契約は本制度を活用し、10年という長期の融資契約を締結した取り組みとなります。本契約においては、最大8.5億円（借入元本の50%）の債務保証を受けております。

DAIZ は、「落合式ハイプレッシャー法」という特許技術により、畜肉や魚肉に近い食感や旨味、栄養素を備えた発芽大豆由来の植物肉「ミラクルミート」を開発・製造しています。同社の事業は、植物性たんぱく質の供給を通じて、世界的な課題となりつつあるタンパク質危機を解決し、サステナブルな社会の構築を目指しています。

【本ローンの概要】

契約締結日	2023年10月6日
アレンジャー/エージェント	三菱UFJ銀行
コ・アレンジャー	農林中央金庫
組成金額	17億円
融資期間	10年
貸付人 (五十音順)	鹿児島銀行 北九州銀行 熊本第一信用金庫 商工組合中央金庫 福岡銀行 三井住友銀行
資金使途	植物肉製造工場及び製造設備購入資金

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（以下 MUFG）は「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて優先的に取り組む 10 の課題を特定しました。本契約を通じた新産業育成支援は、10 の課題における「気候変動対応・環境保全」、「産業育成・イノベーション支援」に位置付けています。MUFG は引き続きグループ一体で成長企業領域の持続的な成長を支援し、産業の更なる発展・拡大に貢献して参ります。

以 上